

全国大会で目標の
ベスト4入りを果
たし満足です

平成14年8月20日から奈良県で行われた第33回全国中学校サッカー大会に北海道代表として2年連続2度目の出場を果たした緑陽中学校サッカー部が、道内の中学校としては過去最高のベスト4入りを果たしました。

監督の菅田さんは、「昨年の全国大会では、初出場ということもあって1回戦で敗退、私も選手も悔しい思いをしました。その思いを晴らそうと、今年のチームは、キックの精度を上げる練習や接触プレーで相手にせり負けない粘り強さなど、個人の能力を高める練習を徹底的に積みました。それがチーム力を高め、今年は、全道大会から力を発揮し2度目の全国大会出場を果たすことができました。全国大会では、ベスト4を目標に普段どおりのプレーに徹するよう心掛け、それが実践でき、目標どおりの成績を残せることができました。とても満足しています」と話してくれました。

速い球回しでペースをつかみ積極的にゴールに向かいました

「試合では、前半から速い球回



3位入賞を果たした緑中イレブン

して中盤につなぎ、積極的にゴールに向かうという戦法をとりました。結果的には、それがゲームの流れをうちのペースにもってこれたと思います。選手達も、1回戦でVゴール勝ちしてから勢いがつき、勝ち進むことに成長していくのが良く分かりました」と菅田さんは分析します。

「全国大会出場にあたって、学校や地域、父母などから多大な支援や応援をいただき感謝しています。また、今回の結果が、他の部活動や一般の生徒にも感動とやる気を与えることが出来たと思います。今回の全国大会の結果におけることなく、常に挑戦者としての気持を持って指導にあたっていきたいです」と感謝の気持など話してくれました。



KIRARI

すが た ひろ ゆき

菅田浩之さん(柏木町)

8月20日から5日間、奈良県で行われた第33回全国中学校サッカー大会で、緑陽中学校サッカー部が全国3位に輝きました。

同中学校サッカー部を指導する監督の菅田浩之さんに大会の様子などの話を聞きました。

緑陽中学校が全国中学校サッカー大会で3位入賞



昭和49年、白老郡白老町生まれ。28歳。

平成10年4月緑陽中学校に新採用で赴任、今年で5年目。サッカー部の監督は3年目。担当教科は数学。中学校からサッカーを始め現在も地域のクラブでプレーしている。